

科目名	就職実務ⅡB									
科目名(英)										
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	各クラス担任		
実施年度	2022年度			実施時期	後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科 3年									
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 就職活動における作品集作成や履歴書記入方法など、社会人になる上でのスキルを身につける。									
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○				就職活動における企業研究が行うことができる				
		○				自己分析を行うことができる				
		○				作品集を作成し就職活動ができる				
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック 社会人研修ノート									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	3	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	4	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	5	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	6	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	7	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	8	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	9	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	10	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	11	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	12	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	13	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	14	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	15	社会人研修								
	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。									

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講態度・意欲		○				30%
	課題の提出		○				70%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名	Photoshop・Illustrator IV						
科目名(英)	Photoshop Illustrator 4						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	原 将史
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 3年						
授業概要	IllustratorとPhotoshopの基本操作を踏まえ、建築パースの作成やプレゼンボードの作成を行う卒業制作や各種コンペティションに必須のレイアウトデザインが行えるスキルを身につける						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Illustratorの基本機能を踏まえ、適切に文字・写真を配したデザインが作成できる	
		○				Photoshopによる建築CGパースの補正とグラフィックの加工ができる	
		○				設計プランのコンセプトに沿ったデザインの演出をコントロールできる	
テキスト・教材 参考図書	情報リテラシー Office2016						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	IllustratorとPhotoshop を連携したワーク(復習課題への取組み)					
	2	有名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン①					
	3	有名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン①					
	4	有名建築物をテーマとしたレイアウトボードのデザイン②					
	5	有名建築物をテーマとしたレイアウトボードのデザイン②					
	6	建物の写真を活用したCG加工					
	7	3DCGのレンダリング画像を活用したCG加工					
	8	プレゼンボードデザインの練習					
	9	プレゼンボードデザインの練習					
	10	卒業制作のプレゼンボードデザイン 構想					
	11	卒業制作のプレゼンボードデザイン 構想～チェック					
	12	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕					
	13	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕					
	14	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕					
15	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕						
評価方法	各テーマ作成課題を評価対象成果物として評価:4種実施、その提出により評価 卒業設計・卒業制作のプレゼンボード レイアウトデザインによる評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	各テーマ課題		◎				60%
	卒業制作ボード		○				40%
履修上の注意	出席率60%が単位付与の条件とする。						

科目名	建築士対策（計画）						
科目名（英）	Architectural Planning						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	森行 美枝
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	建築設計事務所にて 設計・監理業務担当
対象学科・学年	建築工学科3年						
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 （到達目標）	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。	
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
	○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市における役割など、正解を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築計画 ・ 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 気候					
	2	第2章 伝熱・結露				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第3章 日照・日射・採光 第4章 音響				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第5章 色彩				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第6章 環境工学融合				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第7章 空気調和設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第8章 給水設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第9章 排水衛生設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第10章 電気・照明設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第11章 消火・防災設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第12章 設備融合				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第13章 建築史 第14章 計画一般				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第15章 住宅				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第16章 商業建築 第17章 公共建築				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第18章 地域計画 第19章 各論融合				今までの復習プリントで復習	
評価方法	(1)定期試験（筆記）を実施する。※60％以上取得すること						
	(2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				90%
	復習問題	○	○				10%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（法規）					
科目名(英)	Building regulations					
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	徳田 美穂子
実施年度	2022年度		実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 3年					
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法					
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○	△			法令集の準備が整い、問題なく使用できる。
	○	○				面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 について概要説明できる。
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割を説明できる。
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式について正解を選択できる。
	○	○				法令集を使用して、各章で正答を導くことができる。
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築法規 ・ 総合資格 厳選問題集500＋100。					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	第1章 総則 用語の定義 面積・高さ等の算定方法				
	2	第1章 総則 確認済証の交付				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	3	第1章 総則 手続き等(中間検査等)				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	4	第2章 一般構造等 一般構造 建築設備				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	5	第3章 構造強度				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	6	第4章 防火関係 防火構造等 法22条区域内の建築物				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	7	第4章 防火関係 耐火・準耐火建築物 防火・準防火地域				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	8	第4章 防火関係 防火区画・間仕切壁 内装制限等				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	9	第5章 都市計画区域等の制限 道路・壁面線				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	10	第5章 都市計画区域等の制限 用途地域				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	11	第5章 都市計画区域等の制限 容積率・建ぺい率				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	12	第5章 都市計画区域等の制限 高さの制限 日影規制				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	13	第6章 雑則				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	14	第7章 その他の関係法令 バリアフリー法 耐震改修促進法				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング
	15	第7章 その他の関係法令 建築士法 都市計画法 その他				今までの復習プリントで復習
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他 評価割合
	定期試験	○	○			80%
	復習問題	○	○			20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。					

科目名	建築士対策（構造）						
科目名（英）	Building construction						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	黒木 文雄
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	設計事務所で構造設計に従事。
対象学科・学年	建築工学科3年						
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料 概要。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 （到達目標）	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける	
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける	
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。	
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築構造 ・ 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 構造物と力				第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく	
	2	第2章 静定構造物の応力				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第3章 特定トラスの応力				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第4章 断面の性質				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第5章 応力度と許容応力度				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第6章 変形と不静定構造物				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第7章 荷重・外力				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第8章 地盤と基礎構造				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第9章 木構造				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第10章 鉄筋コンクリート構造				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第11章 鉄骨構造				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第12章 その他の構造				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第13章 構造設計				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第14章 建築材料				復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第14章 建築材料				今までの内容を復習する	
評価方法	(1)定期試験（筆記）を実施する。※60％以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	出席60％以上が単位付与の条件・						

科目名	建築士対策（施工）						
科目名（英）	Building Construction						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	集路 正巳
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	総合建設会社にて、主に施工管理職として勤務
対象学科・学年	建築工学科3年						
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。 工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 （到達目標）	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける	
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける	
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅳ施工						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 工事契約					
	2	第2章 工事監理・施工業務				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第5章 土工事・基礎地業工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第6章 鉄筋コンクリート工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第7章 鉄骨工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第8章 コンクリートブロック工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第9章 木工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第10章 防水・屋根工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第11章 左官工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第12章 タイル・張石工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第13章 塗装工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事				復習問題で復習 プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第18章 用語・機械 第19章積算				今までの内容を復習する	
評価方法	(1)定期試験（筆記）を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	出席60%以上を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策Ⅱ(製図)				
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	森行 美枝
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 3年				
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する、各建築構造の基礎知識から応用力までを身に着ける。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	○			目標
	○	○			RC建築構造の課題の特徴、出題傾向が説明できる。
	○	○			S造の課題の特徴、出題傾向が説明できる。
	○	○			各構造の矩計図、断面図の理解し、各部の名称が答えられる。
		○			建築士2次試験問題を限られた時間で描ける
テキスト・教材 参考図書	総合資格 2級建築士 設計製図 テキスト				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキストを確認する
	2	設計製図試験の概要 学習のポイント			前回学習したことを復習する
	3	本試験出題のイメージ..			テキストと巻末の表現方法を確認
	4	計画の要点の概要			前回学習したことを復習する
	5	鉄筋コンクリート造(RC造) 概要			前回学習したことを復習する
	6	ラーメン構造 構造 計画			前回学習したことを復習する
	7	ラーメン構造 配置計画と外部動線			前回学習したことを復習する
	8	ラーメン構造 平面計画			前回学習したことを復習する
	9	鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、			前回学習したことを復習する
	10	鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方			テキスト巻末にある答案例、表現方法を確認する
	11	鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)			テキスト巻末にある答案例、表現方法を確認する
	12	鉄筋コンクリート造 立面図			テキスト巻末にある答案例、表現方法を確認する
	13	鉄筋コンクリート造 断面図			テキスト巻末にある答案例、表現方法を確認する
	14	鉄筋コンクリート造 部分詳細図			テキスト巻末にある答案例、表現方法を確認する
	15	鉄骨造(S造)			
	16	鉄骨造(S造)(RC造) 概要			指示した事前調査に取り組んでおくこと。 (6月下旬に課題発表)
	17	純ラーメン構造 構造 計画			法令集を持参し、関連法規を確認しておくこと。
	18	純ラーメン構造 配置計画と外部動線			建築計画テキストを持参し、プリントと照らし合わせて確認しておくこと。
	19	純ラーメン構造 平面計画			建築構造テキストを持参し、プリントと照らし合わせて確認しておくこと。
	20	鉄骨造(S造) 課題文の読み取り、			事例をもとに解説、プリントはファイリングしておくこと。
	21	鉄骨造(S造) ケーススタディ エスキスの進め方			指示した事前調査に取り組んでおくこと。 (11月下旬に課題発表)
	22	鉄骨造(S造) 要求図面の描き方(純ラーメン構造)			指示した事前調査に取り組んでおくこと。 (12月下旬に課題発表)

	23	鉄骨造(S造) 立面図	図面のチェックと修正				
	24	鉄骨造(S造) 断面図	図面のチェックと修正				
	25	鉄骨造(S造) 部分詳細図	図面のチェックと修正				
	26	チャレンジ課題② 課題読み合わせ ポイントライン引き	図面のチェックと修正				
	27	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正				
	28	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正				
	29	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正				
	30	まとめ 整理	演習問題と関連付けて誠意しておくこと。				
評価方法	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎				30%
	チャレンジ課題②	○	◎				70%
履修上の注意	出席率60%未満者には単位を付与しない。						

科目名	専攻ゼミ(住宅)Ⅱ(必修選択)				
科目名(英)					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	板野 純
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 3年				
授業概要	前期の授業を踏え、各年代の代表的な建築物の分析・考察を通して、自分なりの住宅設計プロセスを組み立て、プレゼンテーションできる力を更に重点的に知識を深め、よりリアルな形にする。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
		○			目標
		○			前期の調査を元に問題点、課題点の解決ができる。
		○			計画立案からの設計プロセスの流れまで一通り実行できる。
		○			各年代の建築物の特徴、課題点を分析し、応用ができる。
		○			1年間の総決算として住宅建築設計のプレゼンテーションを完成させる。
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション「プランニングを考える」			
	2	前期の作品の振り返りをし 問題点を突き詰める			
	3	前期の作品の振り返りをし 問題点を突き詰め (グループディスカッション)			
	4	発表と講評、ディスカッション			
	5・6	前期課題の作り直し			
	7	再分析・再評価			
	8	再分析・再評価、次課題の説明			
	9	作り直しにおいて「デザインの基本とは」話し合う。			
	10	発表と講評、ディスカッション「デザインの基本」			
	11・12	後期課題1について説明			
	13	再分析・再評価			
	14	再分析・再評価、次課題の説明			
	15	課題2 前期に変えて有名建築1(戸建て住宅)に学び、考える 2010年代の日本の代表的な住宅に関する分析と考察			
	16	発表と講評、ディスカッション「建築の評価」			
	17・18	課題3の作り直し			
	19	再分析・再評価			
	20	再分析・再評価、次課題の説明			

授業計画	21	課題4 有名建築2(戸建て住宅)に学び、考える 2019年代の日本の代表的な住宅に関する分析と考察		前回授業内容の復習と、未完の作業がある場合は次回までに作業を終えておくこと			
	22	発表と講評、ディスカッション「建築デザインを学ぶ(建築設計の進め方)Ⅰ」					
	23・24	課題4の作り直し					
	25	再分析・再評価					
	26	再分析・再評価、次課題の説明					
	27・28	課題5 有名建築(戸建て住宅)に学び、考える 1980年代の世界の代表的な住宅に関する分析と考察					
	29	発表と講評、ディスカッション「建築デザインを学ぶ(建築設計の進め方)Ⅱ」					
	30・31	課題6の作り直し					
	32	再分析・再評価					
	33	再分析・再評価、次課題の説明					
	34	課題7 有名建築(戸建て住宅)に学び、考える 世界の代表的な住宅に関する分析と考察					
	35	発表と講評、ディスカッション「建築デザインを学ぶ(建築設計の進め方)Ⅲ」					
	36・37	課題8の作り直し					
	38	再分析・再評価 次課題の説明					
	39	課題9 有名建築(戸建て住宅)に学び、考える 2000年代の世界の代表的な住宅に関する分析と考察					
	40	発表と講評、ディスカッション「建築デザインを学ぶ(建築設計の進め方)Ⅳ」					
41・42	課題10の作り直し						
43	再分析・再評価、次課題の説明						
44	課題11 建築設計の進め方						
45	発表と講評						
評価方法	出席率及び提出作品(期限、完成度)に加え、ディスカッション時の積極性(発言回数、意見内容の整合性)により評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出作品		○				80%
	発表・ディスカッション		○				20%
履修上の注意	出席率60%が単位付与の条件						

科目名	専攻ゼミ(都市)Ⅱ(必修選択)									
科目名(英)										
単位数	6単位			時間数	90時間			担当者	板野 純	
実施年度	2022年度			実施時期	後期			担当者実務経験		
対象学科・学年	建築工学科 3年									
授業概要	設計課題を通して、調査(サーベイ)のポイント、計画の立案、表現方法の工夫など、設計プロセスの習得を目指すとともに多角的に物事を判断、検討が行える力を養う。 卒業制作では、建築を通じて社会に対する問題解決や問題提起ができる思考力や表現力を身につける。									
授業形式	講義:			演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○				都市空間への関心を喚起し、基礎的な知識を基に調査・分析できる				
		○				分析の結果、問題点を見つけ出すことができる				
		○				洗い出した問題点に対し、自分なりの解決策を反映した設計を完成させることができる				
		○				問題点、解決案をプレゼンテーションにより発信することができる				
テキスト・教材 参考図書	プレ・デザインの手法、近代建築卒業設計									
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示	
	1	【設計課題1 7号館リノベーション】問題点のブレインストーミング							前回授業内容の復習と、未完の作業がある場合は 次回までに作業を終えておくこと	
	2	問題点毎にグループ分け、グループ毎にコンセプトを纏める								
	3									
	4	テーマに沿って、個人でリノベーション案を製作する								
	5									
	6、7	ポスターセッション								
	8	ポスターセッション選抜								
	9	選抜者による発表								
	10	【設計課題2 麻生福岡キャンパス】課題説明、現地調査、資料収集								
	11	現地調査を踏まえ、課題などをブレインストーミング								
	12,13	討論会『これからの麻生専門学校群に求められるもの』※抽出された課題を踏まえて								
	14	発表準備								
	15	コンセプト・テーマについて発表								
	16	具体的事項について討論・建物の機能・構造・仕様・規模・建物の配置								
	17									
	18									
	19	概要のまとめ								
	20	発表								
	21,22	具体的に平面計画、スケッチ、ダイアグラム、ボリューム模型で学習する								
	23,24	図面作成								
	25,26	模型作成								
	27,28	CG作成								
	29,30	発表								
	31	【設計課題3 公共施設の設計】卒業制作ガイダンス								
	32～34	図面作成								

	35～37	模型作成					
	38,39	中間報告会					
	40,41	模型作成					
	42、43	発表					
	44	プレゼンテーション最終チェック					
	45	プレゼンテーション(具体的な内容、テーマについて)休暇中作業のガイダンス					
評価方法	各課題作品(模型・図面)を期限内に提出できているか、プレゼンテーションの内容(テーマと完成品との整合性、表現力、準備の充実度)によって評価する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作品(レポート・図面・模型)		○	○			50%
	プレゼンテーション		○				50%
履修上の注意	出席率60%で単位付与が条件						

科目名	専攻ゼミ(施工)Ⅱ(必修選択)										
科目名(英)											
単位数	6単位			時間数	90時間		担当者	吉村 尚			
実施年度	2022年度			実施時期	後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	建築工学科 3年										
授業概要	作成した模型を用い、実務に近い建築工事を体験し、教員が実際に工事を行った体験や資料を利用し、現場実務とほぼ同内容の作業を体験するとともに、建築施工管理試験の過去問題の考察をもって試験対策も行う。										
授業形式	講義:			演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
		○				2級施工管理士国家試験問題レベルの知識を有する					
		○				各工事の検討すべき事項に留意し、施工作業に取り組むことができる					
		○				実務適応レベルの各縮尺模型(木造、鉄骨造、コンクリート造)を作製できる					
テキスト・教材 参考図書	施工図入門書籍もしくは講師にて準備										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	自己紹介レクレーション 自己及び友人の紹介を行う									
	2	建築施工、実務全般の話(業界のしくみ)、質疑応答						疑問点の見直し、探究			
	3	CAD設計(木造設計図) ※CADのおさらい						授業内で終えられなかった作業は次回授業までに終えておくこと			
	4	過去問題 設問解答・解説、質疑応答									
	5	縮尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄骨造、コンクリート造)						疑問点、失敗箇所の見直し			
	6										
	7	過去問題 設問解答・解説、質疑応答									
	8	縮尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄骨造、コンクリート造)						疑問点、失敗箇所の見直し			
	9										
	10	過去問題 設問解答・解説、質疑応答									
	11	縮尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄骨造、コンクリート造)						疑問点、失敗箇所の見直し			
	12										
	13	過去問題 設問解答・解説、質疑応答									
	14	縮尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄骨造、コンクリート造)						疑問点、失敗箇所の見直し			
	15										
	16	杭工事検討のポイント説明									
	17	杭計画図(立面)を基に実際に施工してみる						疑問点、失敗箇所の見直し			
	18										
	19	CAD杭計画図(立面)の作成						授業内で終えられなかった作業は次回授業までに終えておくこと			
	20										
	21	CAD設計(木造小屋付図2F)						授業内で終えられなかった作業は次回授業までに終えておくこと			
	22										
23	仮設足場検討のポイント説明 1										

	24	仮設足場図(平面)を基に実際に施工してみる	疑問点、失敗箇所の見直し				
	25						
	26	CAD仮設足場図(平面)の設計	授業内で終わられなかった作業は次回授業までに終わておくこと				
	27						
	28	CAD設計(木造小屋付図1F)	授業内で終わられなかった作業は次回授業までに終わておくこと				
	29						
	30	仮設足場検討のポイント説明 2					
	31	仮設足場図(立面)を基に実際に施工してみる	疑問点、失敗箇所の見直し				
	32						
	33	CAD仮設足場図(立面)の作成	授業内で終わられなかった作業は次回授業までに終わておくこと				
	34						
	35	CAD設計(木造軸組図、北面)	授業内で終わられなかった作業は次回授業までに終わておくこと				
	36						
	37	縮尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄骨造、コンクリート造)	疑問点、失敗箇所の見直し				
	38						
	39						
	40						
	41						
42							
43							
44							
45	今期授業のまとめ、復習						

評価方法	過去問題対策テストの点数、実務対応レベルの模型完成度、施工取り組み姿勢(安全管理)、実務レベルと比較した技術習熟度により評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト		○				10%
	模型完成度		○				30%
	施工取組姿勢・技術習熟度		○				60%

履修上の注意	出席率60%が単位付与条件						
--------	---------------	--	--	--	--	--	--

科目名	卒業制作Ⅱ									
科目名(英)										
単位数	4単位			時間数	60時間		担当者	板野 純		
実施年度	2022年度			実施時期	後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科3年									
授業概要	専攻ゼミⅡで選択した専門知識及び前期の卒業制作授業の知識等から、修得した建築や造形デザインの知識、技術、センスを活かして、その集大成を研究をとおして卒業設計・論文にまとめる。建築・造形という分野の中で研究の意義を熟考した上でテーマを選定し、担当教員の助言・指導のもと調査・研究を進める。成果は最終的に作品パネルや模型あるいは研究論文としてまとめ、研究発表を行う。									
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				本学におけるこれまでの学習の成果を確認できる。				
	○	○				テーマ設定、資料収集、リサーチ、構想、計画、制作、検証といった一連の活動に主体的に取り組むことができる				
	○	○				前述の一連の活動を通じ、自分の意見を相手に伝えられるようになる。また、そのことで自分自身のコミュニケーション能力や、考察力を確立できる。				
	○	○				卒業制作を通して、設計者、技術者、研究者として必要となる洞察力や表現力を身につけることができる。				
テキスト・教材 参考図書										
	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1 2	全体および卒業研究グループ(ゼミ)でのオリエンテーション								
	3 4	課題設定 (全教員)					授業開始前までに 指示された内容を 情報共有。授業後復習			
	5 6	卒業研究 敷地決定 建築デザイン講義					スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。 調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、 まとめていくこと。			
	7 8	卒業研究 エスキース講義 プラン作成					スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。 調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、 まとめていくこと。			
	9 10	卒業研究中間発表 作品発表講評会					講評における評価・指導内容を客観的に見つめ 直し、作品のブラッシュアップにつなげること。			
	11 12	作品作成					スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。 調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、 まとめていくこと。			
	13 14	卒業研究中間発表 作品発表講評会					スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。 調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、 まとめていくこと。			

授業計画	15 16	卒業研究 A1レイアウト	スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。 調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、 まとめていくこと。				
	17 18	作品作成	業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習				
	19 20	卒業研究中間発表 作品発表講評会	業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習				
	21 22	作品作成	業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習				
	23 24	卒業研究最終発表 作品発表講評会	業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習				
	25 26	中間発表 ポスターセッション(全教員)	業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習				
	27 28	プレゼンテーション1 (全教員)	講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。				
	29 30	最終発表、講評、審査 (全教員)	講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。				
評価方法	中間時のエスキスチェックの内容評価・出課題作品の完成度とプレゼンテーションの出来栄によって評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作品	○	◎				80%
	エスキスチェック	○	○				10%
	発表	○	○				10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	数学ゼミⅢB(選択)									
科目名(英)										
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	吉田 麻美			
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	建築工学科 3年									
授業概要	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す									
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:		実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				文字式・連立方程式の応用問題が解ける				
	○	○				連立方程式を用いて応用関係式が解ける				
	○	○				1次関数のグラフと関係式が解ける				
	○	○				図形の性質と条件を用いて応用問題が解ける				
テキスト・教材 参考図書	オリジナル演習プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	【応用問題演習】 式の計算 文字式の利用、等式の変化					解答出来なかった問題は必ず復習・解答の上再提出すること。また、理解できなかった問題は質問事項を記入して担当教員に提出すること。			
	2	【応用問題演習】 連立方程式 文章問題(代金、速さ、割合、自然数)								
	3	【応用問題演習】 1次関数 グラフと図形								
	4	【応用問題演習】 1次関数 1次関数の利用								
	5	【応用問題演習】 図形の性質と合同 三角形の合同条件と証明								
	6	【応用問題演習】 図形の性質と合同 角の二等分線がつくる角								
	7	【応用問題演習】 三角形と四角形 性質と条件								
	8	【応用問題演習】 三角形と四角形 図形の面積								
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	受講態度・意欲	○	○				30%			
	課題の提出	○	○				70%			
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする									

科目名	BIM 専攻ⅢB(選択)						
科目名(英)	Building Information ModelingⅢB						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	道脇 力
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 3年						
授業概要	・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。	
			○			BIMワークフローにより効率よく設計ができる。	
			○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	課題:複合ビル「制作②」				情報、資料収集を行うこと	
	2	課題:複合ビル「制作③」				情報、資料収集を行うこと	
	3	課題中間報告(発表)				発表資料の確認を行うこと	
	4	課題:複合ビル「制作④」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	5	課題:複合ビル「制作⑤」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	6	課題:複合ビル「制作⑥」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	7	課題:複合ビル「制作⑦」				必要提出資料の確認を行うこと	
	8	課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」				必要提出資料の確認を行うこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		◎				50%
	課題提出		◎				50%
履修上の注意	出席が60%に満たない場合は、単位を認めない。						